

Centimetres

KODAK Color Control Patches

© The Tiffen Company, 2000

Kodak
LICENSED PRODUCT

3/Color Black

White

Magenta

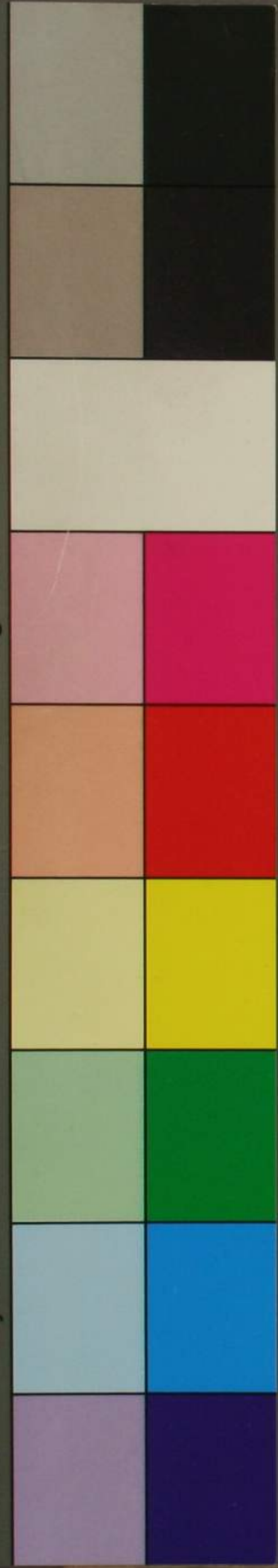
Red

Yellow

Green

Cyan

Blue



A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 B 13 14 15 17 18 19

199
3

形
思
解
脱
物
語
三

199
3



於
199
8

新編解脫物語 卷之三

東都 曲亭馬琴纂脩

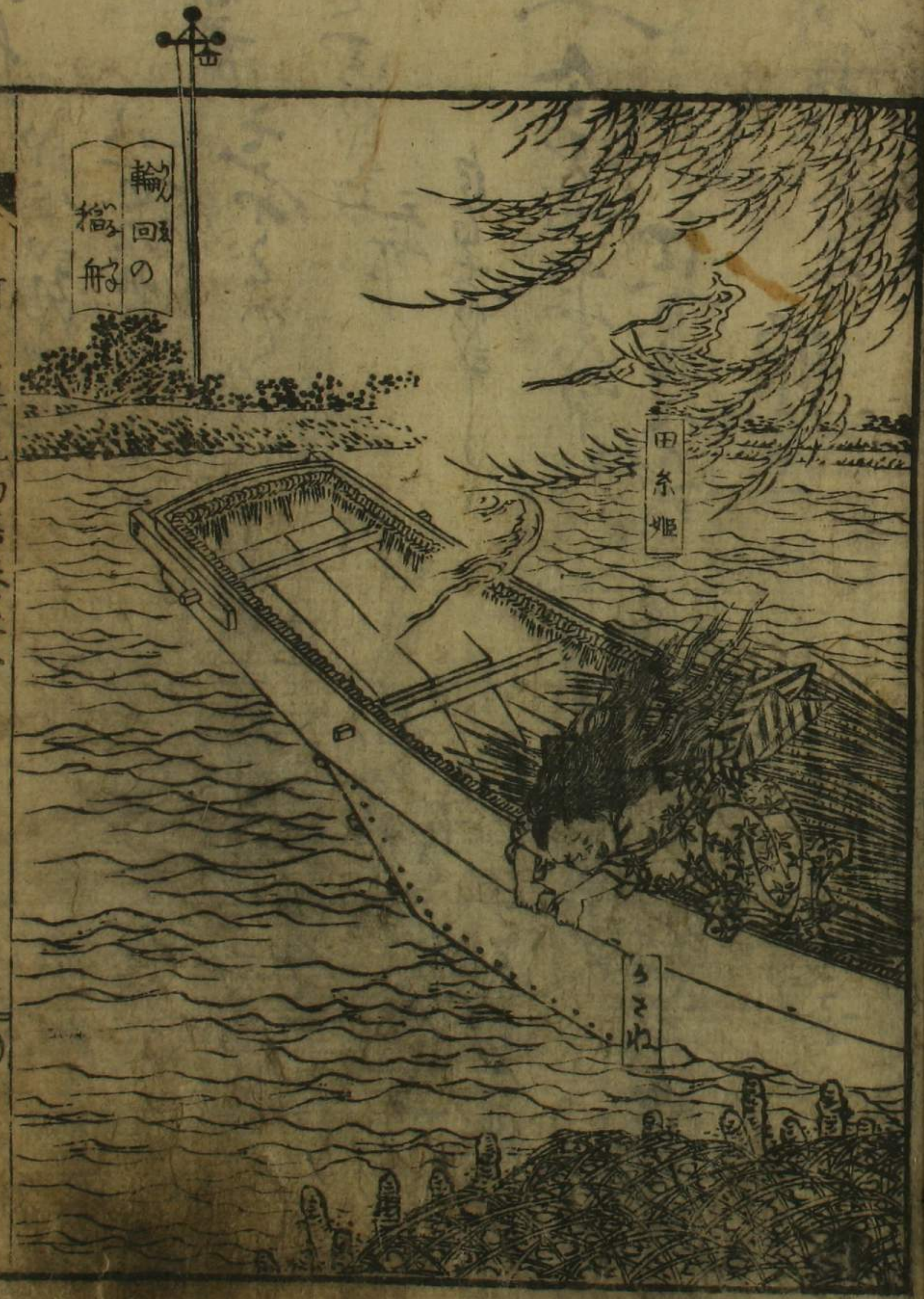
第五

一 靈隱を賣り醜女再び棄らる
二 刀煩惱を断く美男初く仕入

織越子花をとり玉芝を伴てその本意を遂げねどもおのひわくけと立
六十兩の金をゆくり羽生村小婦て後田圃を買ひく稼よましく世
渡り道隣の人かく怪む彼が武藏小判りて小高あど志すれをい
ちあつと小影の金のおまづえやう。大う道るぬ所行を志すこと
とく密小の奉止小目をつらる人のあれどこれと睦を相語ハレの
又田糸の形親ことせむも似どいといさ醜うみりされ健小
病からあさうり。さる向小父と出づ一旦度跡やうれ

輪廻の
船

新日く早急勿忘



田舎娘



与九郎

すけ

うす

新日く早急勿忘

小若つじの歌よもとる。業平の童ら。若谷直實小鏡の袖濡さるる。
 敦盛の面影もこれらつらと見え。一とびとの名をゆへんかたふむと
 焦し。おりのをりよせざるもは夫人盛るる。天小勝天定と人小勝とひり甲
 色香が言宣るる。権と玉芝のいと憎むは奸賊もれらの年未時め
 る。意の随小世を預れば志め。月のもとの威勢の拉だるる小黙止る。是非
 をいりのあつりたる。悪業や報ふべし時々ありん頃。六月十六日。暑い
 とも堪がごとく。権と玉のたれ。小玉芝金五郎と三九人の奴婢をわく。墨田川小鏡を
 送る。彼此と漕まれ。富士の頂まう。向も遠小西もまう。楊国忠が氷の山を羨
 まん。荒波の腰まへ。羽平う。近く東小聳陽成帝のまの川と町。さ
 風小拂の古塚の柳。月小黒心牛嶋の森。烏鶴の樹を三西。曹公の赤
 もるひやれ。螢火の燈の星のふ。肉た。頼政が兔道の川水小似る。こ

る。りのま。涼しく。聴りの悉く。奥あ。とつ。の。て。推。と。其。且。同。り
 紅を。准。備。の。偏。提。う。ら。ひ。て。川。の。年。真。芝。真。と。ら。せ。れ。中。こ。お。れ
 る。ふ。不。西。を。衣。小。統。ら。く。又。右。小。統。ら。く。酒。甜。う。り。と。れ。玉。芝。竹。の。ま。ふ。か。を。を
 る。今。様。を。う。ふ。ふ。の。声。妙。う。く。衆。皆。感。あ。つ。り。ま。は。は。如。小。水。陰。の。雅。蕪
 う。う。く。と。音。う。く。大。や。る。蛇。然。と。洞。を。出。袖。前。小。う。く。と。巻。つ。れ。ま。と。玉。芝
 月。小。し。や。く。ア。そ。く。あ。ゆ。う。と。叫。ぶ。娘。小。女。子。と。も。慌。忙。の。う。こ。も。小。立。さ。と。け。れ。推。と。送
 信。と。え。い。田。系。雄。と。一。声。叫。び。も。あ。く。と。刀。を。引。抜。く。横。さ。ま。小。井。へ。玉。芝。が。首。水。と。は
 之。水。中。小。沈。む。紅。波。紅。底。小。暈。く。龍。田。川。又。黄。葉。と。添。ま。と。と。一。金
 吐。き。と。駭。て。又。を。抱。き。首。入。る。る。か。如。の。中。挟。し。と。立。居。小。自。在。あ。る。ま
 ち。母。と。殺。す。と。く。や。う。う。悔。と。ほ。小。奴。婢。の。事。果。果。の。事。の
 と。こ。ろ。と。ま。ま。の。時。松。樓。の。上。小。呵。と。と。蛇。の。声。う。く。蛇。も。り。地。へ。あ。る。

新編御用外言

さうりふれば推之丞もいづれ酔の醒もあらず。いづれもいづれも口と

驚かすもいづれも何ゆゑかとも恨みまじり。んはあも又いづれもいづれも阿

らう。恨まじりもあつとく。或は怒り或は悔敷くもを奴婢も言はず。阿

や。目入蛇の袖前小波登もく。王芝のまじりたかひいと。奴もいづれも田系姫

とゆけく直小玉芝の首赤落しあつと。因く僕もいづれもいづれも。即思はし

く抱於苗んく。あふ小如狭く臂もま。加旃弘樓の上小物の箱小声ま。い

蛇の迹ま。失るも。あふま。いづれも。陳ま。権も丞のいづれも。即思はし

面ま。人ぞ恨んま。あま。いづれも。あつとく。頭ま。擡ゆる金五郎と。い

慰め。奴婢もあま。あま。いづれも。あつとく。堅く。あま。口を銚ん。人をい

く玉芝。首をうづれ出さ。屍を轆小紅ま。急小病あつと。捕して家ま。い

目次の目玉芝が死す。あま。いづれも。あつとく。浄閑寺。葬り。いづれも。権も丞

ん史小母。あま。いづれも。あつとく。あま。いづれも。日墨田川。あま。いづれも。田系姫の冤魂。あま。いづれも。あ

あつとく。あま。いづれも。あつとく。あま。いづれも。あつとく。あま。いづれも。あつとく。あま。いづれも。あ

それ田系姫と叫び。あま。いづれも。あつとく。あま。いづれも。あつとく。あま。いづれも。あつとく。あま。いづれも。あ

小及んも量。あま。いづれも。あつとく。あま。いづれも。あつとく。あま。いづれも。あつとく。あま。いづれも。あ

魂折を現。あま。いづれも。あつとく。あま。いづれも。あつとく。あま。いづれも。あつとく。あま。いづれも。あ

あま。いづれも。あつとく。あま。いづれも。あつとく。あま。いづれも。あつとく。あま。いづれも。あつとく。あま。いづれも。あ

の秋逝ま。あま。いづれも。あつとく。あま。いづれも。あつとく。あま。いづれも。あつとく。あま。いづれも。あ

ひやぐらも。あま。いづれも。あつとく。あま。いづれも。あつとく。あま。いづれも。あつとく。あま。いづれも。あ

あま。いづれも。あつとく。あま。いづれも。あつとく。あま。いづれも。あつとく。あま。いづれも。あつとく。あま。いづれも。あ

あま。いづれも。あつとく。あま。いづれも。あつとく。あま。いづれも。あつとく。あま。いづれも。あつとく。あま。いづれも。あ

あま。いづれも。あつとく。あま。いづれも。あつとく。あま。いづれも。あつとく。あま。いづれも。あつとく。あま。いづれも。あ

あま。いづれも。あつとく。あま。いづれも。あつとく。あま。いづれも。あつとく。あま。いづれも。あつとく。あま。いづれも。あ

あま。いづれも。あつとく。あま。いづれも。あつとく。あま。いづれも。あつとく。あま。いづれも。あつとく。あま。いづれも。あ

あま。いづれも。あつとく。あま。いづれも。あつとく。あま。いづれも。あつとく。あま。いづれも。あつとく。あま。いづれも。あ

あま。いづれも。あつとく。あま。いづれも。あつとく。あま。いづれも。あつとく。あま。いづれも。あつとく。あま。いづれも。あ

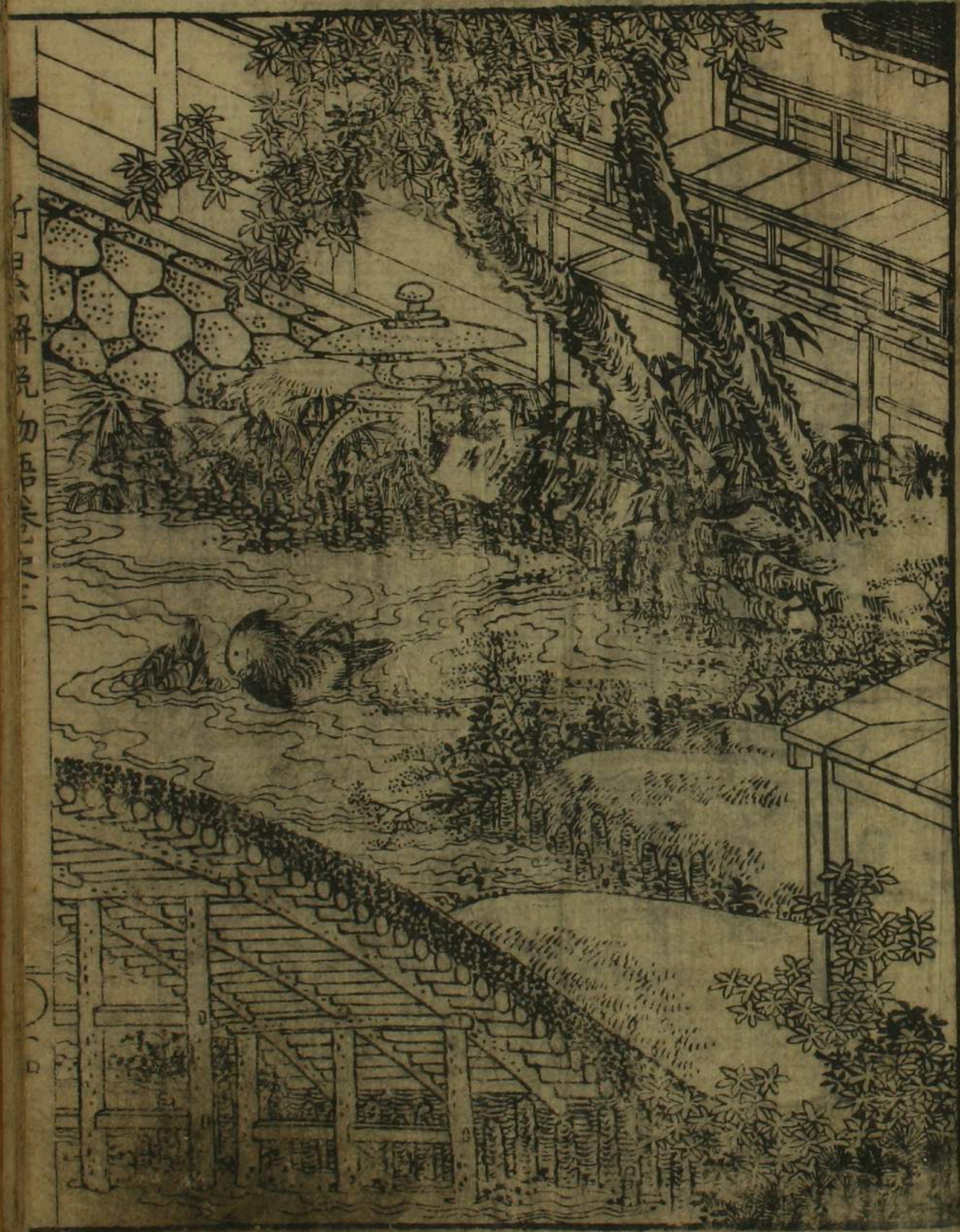
ひ定めあり夜竊小一封の遺書とぞめ。路費よれ程小用意とく。何國とも
 ちくちん 逐電ひと九出つといひ権と丞といひ。年未おさまの猫死小似げなく。さむ
 りのあやしとそえく駭怖れ。子を棄迹を問て。彼冤鬼小誘され。萬里
 のところ小迷ひ出らん。隱慝の報とせし。ねむりく。金五郎の父が遺書を
 へんく大よは駕た縁故い。うともさうざれば。これを追留んとする小。えて往方
 とさくど。愁傷のすうとて。二日二夜と黙止り。がくである。死小やね。縁由
 と正胤小ゆえあげ。父が遺書を進り。正胤よく。同考く。彼遺書を
 亦尚さる小。そのす。ゆえ。先君惟胤の寵遇莫大あると。と述。と。田糸姫往方あり
 ろ。い。る。頃。哀。莫。小。堪。さ。る。小。よ。う。く。仕。と。致。し。願。と。偏。懸。止。く。分。鏡。再。合
 の日を圖らん。願きり。小。人。或。は。田。糸。姫。既。小。死。り。と。つ。と。り。て。許。め。ら。れ。ば。今
 小。ま。う。十六。年。一。日。も。妾。死。を。み。ま。う。小。先。君。逝。去。す。ま。ま。が。あ。ぐ。望。と。喪。と。し

ふ悲うさうん。夫僕陳の人小あう。されば明珠と泥論の蜂小料とめ。さ。つ。は。血
 の民小あう。されば夜光を重産の裏小識とめ。さ。つ。は。臣原罪ある小。わ。ん。玉。抱。く
 遂小罪あり。況死生の果敢る。萬釣。ひ。り。く。府。肉。索。小。繫。が。如。く。一。朝。緯
 断る。小。及。く。されを留んとされども。留らば。願。ひ。空。門。小。入。く。先。君。亡。妻。の。妾。
 提を修し。く。く。今生の恩小答。身後の報を念むべし。経小のり。や。垂。心
 入無為。報。恩。者。君。幸。ひ。に。怪。あ。か。と。る。れ。孩。回。ん。金。五。郎。い。る。は。乳。嗅。の。女。年。之。
 君の恩澤小。う。う。ざ。れ。ば。人。と。あ。る。と。を。ね。偏。小。憐。愍。の。制。度。を。希。と。す。と。書
 う。う。う。の。言。語。非。を。掩。言。と。巧。ゆ。義。理。分。明。う。う。と。哀。れ。小。い。え。ん。
 う。正胤八年。未の疑念。忽地小散く。め。く。金。五。郎。を。憐。む。父。の。縁。相。違。あ。い
 め。つ。く。近。従。小。さ。加。く。さ。め。く。これ。を。赤。肉。と。す。小。定。切。を。兆。ら。く。く。女子。の。こ。つ。と
 小。稀。あ。る。べ。ん。少。年。も。り。え。正胤。忽。地。田。色。小。泥。を。寵。愛。殊。小。あり。て。り。ん。た。か

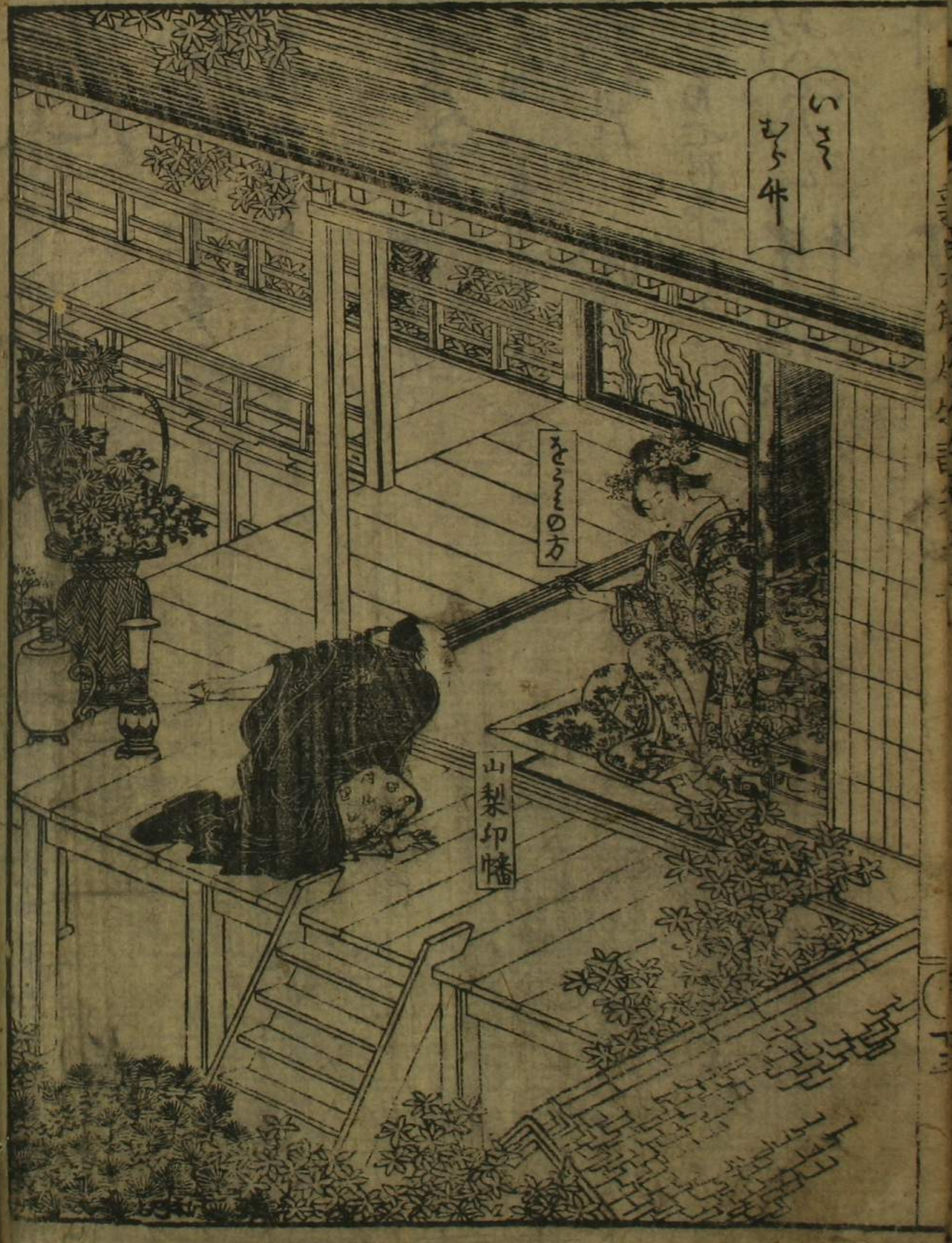


正胤小愛妻あり。是へ下総國岡田郡。法恩寺の村長清三郎の女。小治政
 年正月十九日。千葉の榎武の後胤。世に下總の國人あり。住時康
 武列石濱の館。小移住を實胤の子守胤。その子惟胤。その子二郎正胤。小
 治政。四代。これを石濱の千葉と稱す。この内。小千葉家の領地。下總小
 治政。と。この國。國民舊恩を忘る。志をよめる。其のわたり。清三郎
 縁。双徴の世。小治政。年十カの春。石濱の館。泰ら。給。事。い。こ
 世。治政の。後。い。と。移。住。を。正胤。國。定。親。く。お。く。母。と。り。彼。顔
 十餘歳。小。至。る。ま。ま。く。嫡。室。を。娶。ら。む。浩。如。小。西。八。金。五。郎。扈。從。して。新。治。政。小
 治政。の。頭。首。を。び。り。の。あ。り。され。ば。と。く。小。治政。へ。い。捨。ら。る。小。治政。の。い。と

君の氣色を。と。ゆ。め。の。女。と。う。ろ。く。え。め。れ。ぬ。婦。人。の。い。ふ。う。ち。も。あ。る。と。彼。令。一。言
 と。や。ん。い。ふ。ま。り。あ。る。美。女。年。あ。り。と。も。男。も。小。け。と。ま。ま。と。く。ま。身。の。ま。ま。と。あ
 ら。れ。ん。と。朽。と。あ。れ。と。ん。方。人。む。が。る。彼。人。と。と。ま。か。く。も。謀。て。後。ま。ま。と。く。ま
 又。と。只。其。虫。の。い。と。り。ね。る。夜。回。の。鐘。と。胸。小。つ。と。物。と。と。ま。身。の。本。記
 の。釘。の。う。ろ。も。の。願。ひ。と。や。あ。と。あ。あ。の。新。小。折。と。つ。と。の。年。も。い。つ。と。か
 暮。と。く。春。も。生。の。ら。う。小。あ。り。ね
 第六
 印。幡。を。賺。く。小。治政。靈。夢。を。説。く
 金。五。を。罪。く。正胤。替。姻。を。命。を
 小。亦。正胤。の。茶。道。小。山。梨。印。幡。と。い。ふ。の。あり。り。彼。の。む。じ。朋。輩。の。社。士。の
 野。五。三。を。寃。る。悪。報。小。と。く。と。あ。り。た。死。を。遂。ぐ。と。傳。人。山。梨。治。部。の



竹月解免勿吾家



5
むす牛

きんぎょ

山梨印帳

山梨印帳

をえつりく。さろの中小あり。く。芋漬が蚊見の示現あり。とく。む。を。田の足を剛曹の角と折せり。二寸の隠語のこあり。田小足と添。甲とあり。曹小角を添せり。曹あり。さ。の唐櫃の甲曹。これ小福す。と。曉得く。溜す小眼なつれば。櫃の裏小人のけり。い。息あり。れ。されば。と。岸破と反起長押小掛。と。倉と。櫃の真中を。と。刺をよ忍び。呼若一声。裏より蓋。衝揚ると正流。と。鎧を。引。全身血小塗され。轉び。のあり。これ山梨印幡あり。正流。て火。小怒。逆賊天四訓。と。罵。と。ぬ。び。鎧を。閃。印幡。吃。を刺。と。忽。比。息。絶。ぬ。の。時。金五郎。つ。と。あり。長。彼。を。巻。を。鋒。先。の。鮮。血。を。拭。んと。ま。る。小。正。流。多。は。怒。小。堪。ど。く。金五郎。を。疾。視。の。悪。女。年。因。心。を。擔。く。恩。を。あ。と。豫。く。印。幡。と。密。會。一。彼。

を唐櫃の裏小溜。と。を。殺。んと。ま。る。の。其。退。と。の。れ。を。ら。く。槍。を。ま。と。れ。く。刺。んと。ま。る。小。金五郎。の。を。と。る。氣。を。あ。く。額。つ。て。中。に。を。それ。が。一。思。あり。と。と。君。恩。の。を。を。れ。り。小。綿。満。を。著。口。長。味。小。飽。何。の。不。足。あり。と。君。を。う。と。ま。る。ぶ。え。り。印。幡。が。小。睨。あり。を。夢。小。も。ま。る。彼。り。君。を。殺。んと。謀。ら。ぶ。女。を。か。り。持。た。小。身。よ。寸。杖。を。帯。と。る。成。る。れば。別。小。欲。ま。る。と。ろ。あり。ん。且。印。幡。と。不。義。の。相。語。と。る。を。覚。え。と。と。惜。り。を。君。怒。り。小。棄。と。る。と。討。果。一。あ。を。り。く。縁。を。鞠。向。小。由。る。れ。と。金五郎。が。不。幸。小。ゆ。る。印。幡。既。小。死。と。れ。の。面。あり。提。め。る。を。中。解。と。も。諾。あり。但。印。幡。が。寢。処。小。備。り。と。と。ま。り。越。度。ふ。り。言。り。別。れ。ん。と。是非。小。及。り。と。被。逆。の。れ。衣。を。彼。ら。れ。ん。と。い。ひ。目。と。向。け。り。と。と。掌。と。と。果。く。頭。を。擡。と。刺。ぬ。と。い。ひ。ぬ。と。り。小。衣。

雨夜の
ぬれ衣

新田源次郎五郎三郎



千代正胤

山梨印幡

西入金五郎

新田源次郎五郎三郎



の襟を左右へうたてた。雪の肌とあつりしり。言の腮もひ断る。氣もさぶら。正流
 つらくとんく。忽ち愛惜の情度。さぶら小殺も小忍び。それごとくこれを免
 ぐ。妬指の念をたももて死する。とせんかくもんとあひまひ。さぶらありける
 折しも宿寢の近臣。すず。群響とけつ。ゆき。燭を棄る。遠侍より走
 来まつ。この景迹をえと。駭け。正流近臣をえり。山梨印幡
 西入金五郎罪のふよつて。印幡へ既小誅。金五郎へ厳しく縛り。獄屋
 小繋げ。の穢れ。のさうかくせよと。ゆえあはれ。陰ともの。長と投捨。後堂
 より。近臣。ホウけあり。矢庭。小金五郎を縛る。外の方。引出し。
 印幡が屍を握り。その小送りぬ。の印幡の妻子もあはれ。その友。ら
 憐れ。竊小られを葬り。又金五郎が歎の奴婢。主の禁。概。り。れ。さ。わ
 くと。や。く。大小。驚。くと。さ。も。命。小。う。ら。ん。と。あ。ん。恩。顧。の。り。れ。も。中。う。さ。れ。

かのれく。身と脱んと。る用意の外。更。化。り。身。かく。く。正流。の。の。夜
 小。さ。く。亭。債。小。印。幡。金。五。郎。く。の。と。ゆ。え。き。し。妙。見。の。示。現。全。く。這。奴
 ホ。二。人。が。さ。り。の。信。心。す。解。あ。は。れ。と。も。仰。々。亭。債。の。豫。と。謀。と。定。め。金。五
 郎。さ。り。の。印。幡。も。殺。と。も。吐。裏。と。さ。り。の。あ。し。と。計。較。と。さ。り
 印。幡。の。と。念。の。限。と。金。五。郎。へ。獄。屋。小。繋。れ。と。さ。り。案。小。相。違。し。身。

言と巧く。く。金五郎。あ。さ。り。の。あ。し。と。計。較。と。さ。り。案。小。相。違。し。身。

思慮。あ。つ。く。半。信。半。疑。ひ。く。刑。と。行。な。す。の。後。金。五。郎。を
 助命。の。さ。り。決。し。有。一。日。正。流。亭。債。小。の。り。の。金。五。郎。実。小。弑。逆。の。さ。り。但
 印。幡。と。竊。會。さ。り。證。据。合。明。さ。れ。罪。免。さ。り。と。も。家。小。罪。

此。主。君。の。不。徳。と。子。孫。の。名。小。因。之。助。と。彼。が。一。命。を。助。け。生。

物成かりせと不忠の天罰とせらるる人とりて。頃日そのよみ尋思す。
 小彼ハ世小希多。美男小く今茲十六歳なりしり。これ小希多醜婦と
 妻多る。彼いりて物成もいざらん。あつて此小印幡と不義の相語りて此
 小恩の高れと多ひまふ。今殺せよも勝てり。情をそとていはれり
 きてその醜女を索つ小やと易うい故ふとされが。彼を富家の婿とせばその
 妻醜くも外宿小妻成難くと難くと。家貧く此小の女見以妻
 多。彼艱難とていづれに從屠兒と兒の女兒もせ。夜又小等しれ死女あま
 り。金五郎と女婿とていひまうせんめとといふ。亭績正亂の金五郎を
 殺しいさるとんく。志多し。尤冷し。忽地うら笑とてかや。赦が罪人
 助命ありてんと宜はと。君の仁政いと音くくゆ。さう故郷小一人の死女あり。
 彼ハ羽生村の農夫と尤多つとりの。女兒よく名以累とよりの醜女小

目いちやう言は横さふ。由かて尤の足寢是より母ハ産後日。さうり
 あらう前小住方あり。さうり家元く。貧くは。物凄くは醜女なれば年来
 と索ふ。縁結つるのほり。賢仰そ金五郎婿とて多。累が乃大なる
 僥倖あり。さうりさうり。又清三郎とてさうり。ゆれと。正亂く。知公。そ縁由
 と老臣仰下。總より清三郎と。いふ。累が。同せら。世小遠つと
 清三郎ハ思ふ。父と尤生つと從弟あり。今多。累と扶助と。正亂と。ねく
 金五郎が罪あり。を。彼を下。累が。婿小。女あり。と
 討せよと宜ひ。納聘とて。金五郎あり。と。通さ。い。清三郎とて。執
 彼ハ。死女なれば。年未女婿と。索ふ。終く。夫と。い。さうり。死
 ち。由緒あり。と。累ハ。い。清三郎
 かつ。大なる。僥倖あり。婚縁の。仔細いと。兼言。さうり。近。金五郎と

婿入りはさへべりとのりさすの清三郎と候。金五郎は老臣とせり。助合下の
 ひと仰るふ吉のれば。羽生村農家の碓女累が夫下り白ふるなり。累が醜
 態を嫌ひく離別し。身と跡を遺すを聞かす。草紙川をひても索出
 たり。びらりうらび首と制し。原是令小梅も妻なれば。等閑の事へ
 こいせらる。金五郎の謹く仰を重。令助らねく。夫よりと下り。清三郎
 清三郎は總小立うら。妻も縁由とせ。離れ累をひびく。千葉家の
 近世金五郎とやんとり人。箇様この罪あるよ。夫が夫下り。あつらふ
 たり。彼金五郎は美男なり。とす。故ひぬふ。とて。累はうれし。とせ。氣を
 けり。常言小鷲馬は伯樂心會む。遍舟の十倍を載せ。とて。美男の
 こと。碓女の對ひ。とて。さる人。夫とせ。けり。後り多く。指られ。る。は。息久の
 けり。さるの悔。さるふ。は。は。の。昏縁。は。け。ひ。は。と。清三郎。

ね。み。身。が。さ。あ。の。け。た。れ。小。あ。れ。ね。と。彼。人。武。家。の。近。臣。と。せ。農。夫。小。あ。り。下
 せ。る。罪。の。と。り。さ。す。況。君。の。命。小。よ。う。と。み。身。と。妻。と。と。る。な。れ。離。別。と。ん
 と。と。も。さ。る。あ。つ。ら。ふ。と。の。羊。未。替。と。徴。ふ。と。の。人。と。は。し。小。ひ。る。昏。縁。亦
 の。べ。り。さ。あ。は。え。び。ま。げ。と。言。小。隨。ひ。ぬ。と。の。清。三。郎。が。妻。も。偏。より。頗。小
 薦。く。と。り。さ。す。の。み。身。と。妻。と。と。る。女。兒。等。續。の。千。葉。家。小。給。事。と。さ。る。小。人。と。の
 事。を。推。辞。す。と。の。怒。り。小。あ。め。て。り。る。罪。を。ゆ。ん。と。れ。も。亦。量。が。せ。あ。り
 死。筋。あ。つ。た。か。つ。り。た。と。と。と。と。應。あ。り。と。の。小。累。の。再。び。罪。を。阻。こ。と。は
 せ。る。身。難。死。より。行。られ。と。と。と。と。扶。助。し。あ。ら。さ。る。と。と。と。と。憂。ひ。ひ。け。り。と。の。小。累。小
 夫。を。放。る。れ。が。昏。縁。を。推。辞。小。あ。れ。ね。と。と。身。過。世。の。く。と。と。と。魂。せ。と。と。と。
 家。又。細。死。煙。小。と。と。と。と。小。怨。と。と。と。と。美。男。を。招。か。と。と。と。と。由。く。と。と。と。と。遠。く。と。と。と。と。
 世。の。胡。慮。小。あ。つ。ら。ふ。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。宜。い。と。と。と。と。脱。る。小。道。と。と。と。と。

新編海防物語卷之三



